



Iwate Prefectural Hanamaki Minami Senior High School

岩手県立花巻南高等学校

# 同窓会報 2019



〔発行〕岩手県立花巻南高等学校同窓会 事務局

〒025-0053 岩手県花巻市中北万丁目288番1

TEL(0198)23-4236 FAX(0198)23-4365

URL <http://www2.iwate-ed.jp/hks-h/>

印刷 (株)菊忠印刷



## ご挨拶

同窓会長

瓜生 祐子  
(高女33回生)

初春を寿ぎ同窓生の皆様をはじめ、関係各位のご多幸を心から祈り申し上げます。

107年の伝統に輝く母校の学級減についてはいまだ決定されていないことに心が痛みます。会員はもとより、市民の皆様方の署名活動にご支援をいただいたおかげで、昨年の8月には暫定的に1年の延期の措置はとられました。来る2月上旬にパブリックコメントが行われるようです。

かえりみまずと平成27年12月、県教委から突然出された高校再編問題にふりまわされた今日に至っています。署名活動、陳情等本来の活動でないことが主流になり、ご不満も多々あったかも知れませんが、押えて団結の力を示した活動は、校史の1ページを飾ることになるかも知れません。皆様のご協力に感謝申し上げます。

そして最終判断が吉と出ることを祈りつつ、亥い年に期待したいものです。そのよき結果をのぞむ人々の声や考えを紹介します。大

村孝子様。高女29回生で詩人の評論家とお話しをしたときのことです。

自分たちの先輩に、宮澤賢治の妹トシさんをはじめ清新な総合誌「女性岩手」を編集した多田ヤスさん(高女2回生)、県初の女性司書として読書運動を推進したり岩手日報の「ばん茶・せん茶」に寄せた随筆の文学性が高いと評価された村田野枝さん(高女13回生)を輩出し人を育てる豊潤な校風だったと、ご自分が執筆活動をしている原点に感謝されておりました。

次はスポーツの話です。昔の役員会は先輩のエピソードを聞かされましたが記憶にあるお話です。大正時代はテニスはとてものずらしいもので、女学校では、白梅校(現盛二)と花巻女学校の2校でした。代表選手たちが学校を出発する寸前のこと。梅松校とりどりの

色香もたえなる花巻の、との歌詞をにわかに書いてクラス全員に回覧、盛岡の会場に着くまでの間に節をつけてうた

い、声を張り上げて応援歌にしたという話でその作詞者は、高女11回生北山キヨさん(代議士北山愛郎夫人)と才女の集団だったようです。その政治の世

界の名をつらねた鎌田スズエさん(高女3回生)、佐藤マツノさん(高女7回生)他たくさんあつたと聞いています。その他現職の高校の先生の声も岩手日報で目に致しました。○学級減よりも、1学級の定員を35人にする。○セintasクルールの学級減がされないことへの疑問などありました。

つまり再編は再考すべきとの声ではないかと思えます。次に今年度は4支部と本部の5会場で「総会」が開催され、それぞれ趣向を凝らした「花南」らしい会でした。終りになりましたが、来る110周年に向けての取り組みについてお願いをいたします。

このたび10年ぶりに会員名簿を発刊する運びになりました。この名簿は母校の存続、発展のために必要不可欠なものである

ことをご理解の上、ご協力、ご支援をくださいますよう、伏してお願ひ申し上げます。

国内の出来事が「災」の文字で締めくくられた2018年でしたが花巻市にはそれをほねのけるようなおめでたいことがありません。その代表的なものは何といつても、花巻東高校出身の野球選手の栄光です。

○菊池雄星くん  
○大谷翔平くん  
ご二人の今後のご活躍、怪我のないよう、がんばって下さい。高校生に夢と希望を与えてくれたお二人にあやかってわが後輩の皆さんも大きく羽ばたくことを祈念し、挨拶を結びます。

### ご案内

#### 2019年度岩手県立花巻南高等学校 同窓会総会

- 日時 2019年7月7日(日)午前10時20分より  
"7月第1週目の日曜日"
- 会場 花巻温泉 ホテル千秋閣「グレートホール瑞雲」  
※総会終了後、懇親会を行います。
- 会費 5,000円 是非お誘い合わせの上、ご参加ください。



# 姉妹柳のこれから

校長 菅原 一成

同窓生の皆様には、日頃よりご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。お蔭様で母校花巻南高校は今年で創立107年目、高野台からここ万丁目の校舎に移転し、27年が経ちました。平成25年5月に創立100周年の記念として植樹された「姉妹柳」も、新しい学び舎の庭に風に揺れながらしっかりと根付き、雨に包まれて、幹がますます力強く逞しく育っております。

周年記念誌にたびたび取り上げられている柳の樹が、しなやかに、緑をたたえ真っ直ぐに立っている姿を見ると、校歌の一節とともに、花巻南高校の伝統の一面を見た気がいたします。現万丁目校舎の敷地には、柿やブルーイン、ブルーベリー、ザクロ、栗、スグリなど、源平咲きの美しい桜や青々とした緑の松、紅葉に映えるモミジとともに、様々な果実も植えられています。果樹が多いため花巻南高校の敷地には、いつも野鳥が集まり、小鳥のさえずりを聞きながら、生徒たちは登校します。先日、放課後に校長室で仕事をしていると、遠慮がちにドアをノックする音がしました。すると、男子生徒が2人にこやかに入ってきて、「校長先生、いつもお世話になってい

ます。実は中庭にある柿の実をとって用務員さんに教わりながら干し柿を作りました。ぜひ食べてください。」と小ぶりの干し柿を3個、丁寧にパックしたものを差し出しました。実は、私は小さいころから干し柿が苦手だったので、嬉しさ半分、戸惑い半分で受け取りました。しかし、彼らの期待に満ちた笑顔を見て、その場で食べないわけにはいけな

いと、思い切って一口、すると、なんと今まで食べたことのない、くせのない、甘い干し柿で、あまりのおいしさに生徒が帰ってから残りの2つもペロリと食べてしまったのです。

何とも食い意地の張ったお話で恐縮ですが、実はこの数カ月前も、女生徒2名が校長室へチョコレートの焼き菓子を届けてくれたのです。日頃、校内を巡回したり、受験面接のための指導等生徒と言葉を交わすようにしていたのがこのような嬉しい出来事に繋がり、花南生がますます好きになったというわけです。

青春の疾風怒濤期の荒波を元気に乗り越えながら、どこまでも明るく、のびやかで、努力を忘れない花巻南の生徒たちをこれからも姉妹柳は見続け、いつしか彼らの心の支えになって行くのだと思うと、新しい姉妹柳に祈るような気持ちがあふふつと湧いてくる今日この頃です。

同窓生の皆様にとって姉妹柳は、旧高野台校舎の松並木とともに、学び舎の象徴であったと聞きました。同窓会会長の瓜生先生から、旧校舎の姉妹柳が朽ちて危機に陥った時のお話を伺い、「学び学園」に写真を撮りに行き、今も丁寧に手入れされ、涼やかに枝を揺らしている美しい姉妹柳を見て感心したものでした。

果樹が多いため花巻南高校の敷地には、いつも野鳥が集まり、小鳥のさえずりを聞きながら、生徒たちは登校します。先日、放課後に校長室で仕事をしていると、遠慮がちにドアをノックする音がしました。すると、男子生徒が2人にこやかに入ってきて、「校長先生、いつもお世話になってい

ます。実は中庭にある柿の実をとって用務員さんに教

わりながら干し柿を作りました。ぜひ食べてください。」と小ぶりの干し柿を3個、丁寧にパックしたものを差し出しました。実は、私は小さいころから干し柿が苦手だったので、嬉しさ半分、戸惑い半分で受け取りました。しかし、彼らの期待に満ちた笑顔を見て、その場で食べないわけにはいけな

いと、思い切って一口、すると、なんと今まで食べたことのない、くせのない、甘い干し柿で、あまりのおいしさに生徒が帰ってから残りの2つもペロリと食べてしまったのです。

何とも食い意地の張ったお話で恐縮ですが、実はこの数カ月前も、女生徒2名が校長室へチョコレートの焼き菓子を届けてくれたのです。日頃、校内を巡回したり、受験面接のための指導等生徒と言葉を交わすようにしていたのがこのような嬉しい出来事に繋がり、花南生がますます好きになったというわけです。



旧校舎高野台の姉妹柳の写真と万丁目の新しい姉妹柳の写真



## 恩師寄稿

花南時代の  
想い出

田付晋也 教諭

〔現 黒川南高等学校教諭〕

新校舎移転の2年目、平成4年から9年間勤務させていただきました。「新生花南」がスタートしてからの途中加入で、勤務2校目の私にとっては右も左もわからず手探り状態でした。2学年担任になり、同学年の先生方に迷惑をかけないように毎日が必死だったことを覚えています。

その「新生花南」男女共学1期生を2年生から担任（普通科男子16女子30合計46）することになりました。この学年は普通科の中に新たに体育コース、さらに国際科が新設されており、その年には研修会館が完成し、記念式典も行われました。新しい時代が幕開けし、新たな歴史が創られる瞬間を実感できた時期でもありました。彼らは文武に活躍する生徒が多く、部活動は野球部をはじめ、各部が次々と県内に旋風を巻き起こしていきました。また学業面では、国公立大学をはじめ、4年制大学等への進学希望者が多く、部活動引退後の進路希望達成に向かう集中力には目を見張るものがありました。そんなフロンティア・スピリットに富んだ1期生たちとの出会いは非常に想い出も多く、現在もおつきあいをさせてもらっています。彼らも40代となり、それぞれの分野で活躍していますが、個性豊かで、自分自身の明確な座標軸を持ちながらも「新生花南」の1期生と

しての自覚と自負を共有しており、集団としての団結力も特筆すべきものがありました。卒業生たちのさらなる飛躍を期待しています。

部活動は9年間ソフトボール部の顧問でした。小学校時代にスポ少程度の経験はあったものの、高校生を指導するレベルではなく、生徒に負けないよう練習したものでした。ルールや戦術も他校の先生から学んだり、研究したりして、徐々に楽しさを感じていきました。生徒は一人一人身体能力が高く、高度な技術を持ち、ソフトの経験値が高い選手が多く、またそういう選手に引つ張られて他の選手達も練習し、技術を磨いていきました。そういう結束力がチームとしてのレベル向上につながっていったと思います。毎日練習に励み、土日には大会、県外遠征、練習試合等を繰り返して、試合慣れしてくるといい結果を出すことができ、生徒達がどんどん成長していくのを実感することができました。部員全員

の努力が実りはじめ、強豪チームと対戦し、敗れてもまた練習し、徐々に勝つことができるようになっていきました。そんな折、荒田幸治先生が平成7年に黒南（現 翔南高校）から赴任され、本格的に花南ソフト部の強化体制が図られていきました。コーチにも熱情的にサポートしていただき、ソフトの楽しさを深めていくことができました。

個人的にはベスト8から4へのチャレンジが続ぎ、平成6年にやっと県新人大会を19年ぶりに制し、全国選抜大会へ出場できたこと。平成7年に29年ぶりに県高総体を制し、山口で行われたインターハイに、さらに翌年には連覇し、山梨インターハイに出場できたこと。全国選抜には平成11、12年と連続出場できたことなどが部

活動での実績と想い出です。一方で平成11年の岩手インターハイには最重要強化指定校であったにも関わらず、県予選で敗退したことが過去の消せない想い出です。校歌の歌詞にある「歴史を創る使命あり」というフレーズをチームのテーマにして活動した時代もあり、素晴らしい環境のもと、素晴らしい選手、コーチ、そしていつも温かい応援と支援をしていただいた父母会の皆様とともに、ソフトを今も嬉しく誇りにしています。

創立107年目平成最後の年の同窓会報の発行にあたり、花南時代の想いを振り返る機会を与えていただき、感慨深く感じています。改めて県内有数の歴史を誇る高校で勤務できたことに感謝し、今後花南同窓会の益々のご発展を祈念しています。



探奮の樹



定期総会

シナージズム

上野 由美子

(南高13回生)



私達13回生は、今年が最後の当番監事。受付を終えて会場に入ると、そこは高女の大先輩から南高43回生までの幅広い年齢層のめったに出会えない得がたい空間でした。

さて、同窓会が開会しました。毎年この一大イベントを準備されている方々には、本当に頭が下がります。定期総会、アトラクションと進み、懇親会の始まりです。

備や練習会場の確保などを

一手に引き受けてくれたT子さんが、腰の痛みで歩けなくなったのです。練習には来れなくなりましてが、当日には激痛をこらえながら会場に来て私達の出番のメッセージを読み上げてくれました。責任感の強い彼女からのパワーと汗だくで練習した甲斐があつて無事最後のお役目を果たすことができました。

会場には元気に活躍されている先輩方が沢山いらっしやいました。介護の仕事の第一戦でバリバリ指揮をとっているMさん。民生委員として活動しているHさん。幼稚園の先生だったNさんは、子ども広場でボランティアをしているのとこのひと回り先輩のYさんは、シニア大学、詩吟、体操教室、歌う会、大正琴など常に学び楽しんでる方です。その上、80歳を過ぎてもから念願だったピアノを習い始めたとのこと。諸先輩の背中が、予測のつかない

これからの道に向かう私達の大きな指針です。

同級生のTさんは、福岡道から九州まで追っかけをしていてという話で、守りに入りがちな私達に笑いました。HさんとMさんは、親の介護での共通の悩みを語り合っていました。

同窓会への参加が叶わなくなった友達もいます。J子さんと「退職したら会いましょうネ」が年賀状での合言葉でした。優しいのにシンは太く、静かに微笑んでいる人でした。H子さんは困難なことも明るく笑い飛ばす元気な人でしたが、二人とも退職を前に旅立ってしまった。同級生達との交流で得たものは、大きな大きな財産となっております。

シナージズムⅡ相乗効果という言葉があるとのこと。1たす1は2ではなく、それよりも大きなものになることを言うのだそうです。料理で言うと、例えば昆布だけの薄いだしは、どこか頼りない。かつお節だけの

だしもちよつと物足りない。ところがこの二つを合わせると、がぜんうまみが引き立っておいしだいしになる。これがシナージズム。

人と人との出会いにもシナージズムがあるのでないかしら、と思いつながら家路についたのでした。

麗しの花南同窓会

菊池 由利子

(南高23回生)



高女時代の大先輩、どこかでお目にかかったような方々、同級生等、沢山の方達の笑顔溢れた素敵なお集まりでした。そして終了後には「面白かった！また来よう！」と思つたのでした。

「今回の同窓会は当番幹事だから、なるべく沢山の人が参加して欲しいんだって。当日大丈夫？」友達から久々に連絡がありました。平成30年の3月一杯で定年退職を迎え、今年こそ同窓会に参加しようと思つていたところでした。というのも、ここ数年、7月の同窓会の日には職場の研修旅行と重なり参加出来ずにおりました。7〜8年前だったでしょうか、友達とNさんに「まず面白いから来てみてよ。いろんな人に会えて楽しいよ」と言われ、あまり乗り気でなく参加した同窓会でしたが、なるほど。

「当番幹事だから皆で踊るんだって、練習もするそうだよ」ということでしたが、練習日には参加できず、当日にぶつつけ本番で臨むことになりました。曲は、私が高校時代ファンだった西城秀樹さんのヤングマン。「元気に明るく踊ればいいか！」と私の「どうにかなるさ精神」で、リードしてくれるSさんや友達を横目でちらちら見ながら、笑顔でごまかし？なんとか踊ることができました。ほっとして舞台を下りると、大先輩が「良かったよ！」と皆に笑顔で言葉をかけてくだ



さり嬉しく思いました。「さすが大先輩。優しいなあ」と温かな気持ちになりました。

還暦となり、友の顔にも様々な人生を歩んできたであろうものが1〜2つ見え隠れしていましたが、皆麗しさは当時のまま。話をすれば、あの頃と何も変わらず、それが何とも不思議で嬉しい気持ちになりました。高校1年の頃、ペランダに出て、バイクで登校して

来る3年生のかっこいい先輩に、友達と一緒に「オーさん！」と大声で手を振ったこと。「応援歌練習は怖いんだってよ」の声にびくびくしながら臨んだこと。

「校門の柳の木の側や、花南会館、校舎内の階段近くには幽霊が出るんだって。」等と噂話をしたりしながら、べちゃくちゃとおしゃべりに夢中になったこと。汽車通学でしたので、学校帰りには時間がぎりぎりになり、友達と一緒に校舎の裏の新道に続く坂道を転げるように駆まですわったこと等、次々に思い出されます。

ある日英語の先生が出張で、教頭先生の授業となりました。先生は英語で「人生をより良く生きる一番ベストな方法は、小さなことでよくよくよいないうことだ」という言葉を教えてくださいました。(友達も覚えておりました) 私はその言葉を、いつも心の片隅に留めながら、今までの人生を歩んできたような気がします。「悪いこと悪い日は多々あるが、いつかまた良いこと良い日が

必ず巡ってくるもの。何事も良い方に捉えて明るく元気に生きていくこと」とても大切な指針をご教示いただいたと思っております。

こうして私の高校生活は豊かで掛け替えのないものになりました。恩師、先輩、同窓生、クラスメートの皆様に心から感謝申し上げます。そして、毎年このように素敵な同窓会を開催してくださる会長はじめ副会長、事務局の皆様、23回生の皆の先立ちをしてくださっているKさん、クラスリーダー。すべての方々に心から敬意を表します。本当にありがとうございます。

来年の夏もキラキラと輝きながら、麗しの花南同窓会に参加して、皆様と再会できるよう、健康に気を配りながら元気に過ごしていきたいと思っております。最後になりましたが、花巻南高等学校の今後益々のご発展を心からお祈り申し上げます。私の寄稿文といたします。

当番幹事の役目を果たす

高橋 秀行  
(南高43回生)

2年ほど前、学年幹事を務めていた笹山明くんから、常任理事になるので代わりに学年幹事になってほしいとの連絡がありました。

特に面倒はないとのことなので引き受けることにしたのですが、その後、年に1回開かれる同窓会の定期総会で当番幹事として余興をしなければならぬという

ことを言われ、話しが違うのではと思いつつ、まずは先輩方がどのような余興をしているのか参考に会いに行こうということで当番の前年の平成29年度定期総会に参加しました。

会場に入ると、花巻温泉千秋閣の大広間に200人以上の先輩方が集まり、元女子校のため当然といえば当然なのですがほぼ女性で参加した同級生男子4人で緊張しておりました。会が進み、余興の時間帯となり先輩方がされる余興は、おそろいの衣装とダンスで素晴らしい内容でし

ついでに、言ってしまうと、言ってしまうからにはやらなければならぬ、さてどうしよう...と思いつながら月日は流れました。

定期総会まで2か月ほどとなった5月初め、笹山君からそろそろ人を集めて演目を決めなければならぬとの連絡があり、まずは準備をしなければと人集めを開始しました。高校時代に所属していた野球部と体育コースのクラスメイトは芸達者が多く、仲間の披露宴では「花巻南高校男女共学3期生余興部！」として、今まで数々の余興をやってきた経験があり、人さえ集まれば何とかなるようになるだろうと思つてはいましたが、呼び掛けに応じてくれたのはやや寂しい6名という人数でしたが、その中にはキレのある踊りと甘い歌声を持ち、野球部ではセカンドでしたが余興部ではセンターを努めるU君がおり、彼がいれば成功するのほとと一安心しました。演目は西城秀樹メドレー「秀樹感激！」と余興部の18番である映画ウォー

タボーイズの振り付けと某金融会社のCMダンスをミックスした「厄年ボーイズ」を演じたところ、センターで熱唱するU君には先輩方からの黄色い声援が浴びせられ、席に戻ってから握手と記念撮影を求められるなど、さすがU君と感心させられました。皆様に喜んでいただけたのではないかと勝手に解釈し満足した我々でした。

花巻南高校時代の仲間とは、毎年盆と年末に集まって酒を飲み昔話を花を咲かせ、花南で良かったと思つています。また、定期総会にこれだけ多くの同窓生の皆様が参加されるのは母校を愛している方が多いのだと思つています。

最後に、私は野球部OB会の事務局を務めているのですが、近年の野球部の活躍は非常に喜ばしく、昨夏は盛大付属にあと一步で敗れはしましたが、私が現役の頃には考えられなかった甲子園出場が期待される強豪となつております。野球部の皆さん、私を甲子園に連れてってください！



た。会の終盤に、来年度の当番幹事はステージへとアナウンスがありステージへ登ると「次回の当番幹事が来年度の定期総会に向けての抱負を述べます」との紹介がありました。私は「来年度は精銳を集めて皆様に喜んでいただけるような余興をやります」と、

# 会員だより

## 私は女優？

高橋 百合子  
(南高15回生)



高校を卒業して半世紀が過ぎ、紺色のジャンパースカートの女子高生も古希を祝う年齢になった。本当に月日の経つのは早いものだ。当時の記憶は薄れてしまったが、女子だけの教室は、とても賑やかで、いつも大声で笑っておしゃべりしていた。あまり丈夫でなかった私は、スポーツも不得意で部活動で活躍している友を、羨ましく思っていた。毎日休まず通学することが課題だった。電車での通学だったが、駅までも遠く田んぼばかりが続く道を、自転車ですべて全速力を、こんな三年間で鍛えられ健康になったのかもしれない。卒業後、仙台の衛生検査技師学校(後の医療短大)に進学し、その後ずっと仙台で暮らしてきた。いつも

故郷を思い、共に学んだ友を思い出しながら頑張ってくるのができた。やはり私の原点は、友と語り合い、学業に励んだ高校時代であり南高校の生徒であったことを誇らしく思う。人生にはいろいろなことがあるもの。30代で離婚したときは、3人の息子(中学1年・小学5年・2歳)と不安でいっぱいスタートだった。いつも気忙しく無我夢中の毎日だった。さまざまな事があった子育て時代だったが、今では笑い話になり懐かしい。息子たちの中学時代は、「やんちゃ」が過ぎ、仕事帰りは、いつも学校に呼ばれ注意を受ける事ばかり。3人とも同じようなことをするのだから呆れてしまう。高校を卒業した後、運転免許を取れば何でも事故を起こし、その後始末に奔走し母親ってこんな大変なものかと、悩むことの多い日々が続いた。し

かし、この子供たちがいることで学んだことも多く、たくさんのお会いもあり思い出を積み上げることができたと思う。今、彼らは、家庭を持ち一家の柱として頑張っている。子育ても終わり、検査技師として働いてきた職場も退職してホッとした時に、また次の役目が与えられた。再婚したのだ(ビックリ)。私の60代にこんな場面があるなんて…。私は、また生れ育った花巻で暮らし、花や野菜を育て家庭菜園を楽しんでいる。再び故郷で暮らせることが本当に嬉しい。だけれど、自身の人生の舞台上で主役を演じて生きている。私もいろいろな役を演じて生きてきたものだとしみじみ思う。代役もない、断ることもできない役柄を演じ続ける私は、女優かな？

あの賑やかな教室にいた女子高校生も「みんな女優」なのだ。互いに、人生の舞台の幕が降りるまで、自分の与えられた役柄を演じ続けよう。

## 今年度 同窓会役員

- |      |                  |
|------|------------------|
| 副会長  | 佐藤 貴子 (南高 13回生)  |
|      | 佐藤 洋子 (南高 14回生)  |
| 監事   | 照井 牧子 (南高 22回生)  |
|      | 高橋 睦子 (南高 25回生)  |
|      | 熊坂 育子 (南高 28回生)  |
| 常任理事 | 菅沼 ヒデ (高女 30回生)  |
|      | 小瀬川 陽子 (南高 5回生)  |
|      | 高橋 勲 (昭和 35年卒)   |
|      | 牛崎 敏男 (昭和 39年卒)  |
|      | 葛巻 久美子 (南高 18回生) |
|      | 笹山 明 (南高 43回生)   |

## 平成30年度 同窓会の様子



# 支部だより

## 東京支部

監事

原 みどり

(南高17回生)

平成30年度同窓会東京支部総会は、4月8日(日)上野精養軒に於いて開催されました。

当日は、本校から学校長菅原一成様、総務部長藤村哲男様、同窓会長瓜生祐子様、副会長佐藤洋子様、佐藤貴子様、事務局佐藤一枝様をご来賓としてお迎えいたしました。入学式の前日にも関わらず駆けつけて下さいましたことに感謝の気

持ちでいっぱいです。

校長先生から、生徒の進学状況や部活動の成果など大変丁寧な報告がなされました。また、県立高校再編計画について、12校対象になっており、本校の場合1クラス減らす方針が発表されていますが、何ら削減対象になる理由はないとの見解を示されました。続いて挨拶に立った瓜生会長も、5学級維持のための署名運動の協力のお礼とともに、県教委や花巻市議会の様子などをふるさと言葉たつぷりに熱心に語っておられました。



お二人の力強いお話に、これまで以上に母校の発展を願わずにはいられませんでした。

総会に続き親睦会が行われました。会食しながら懐かしい思い出話を目を見舞かせ旧交を温めている光景は同窓会の「とっておきの時間」です。また、アトラク



て参ります。

## 盛岡支部

盛岡支部支部長

松尾 洋子

(南高6回生)

平成30年度盛岡支部総会並びに懇親会は、2回の理事会を経て、10月28日(日)に、87名の出席により「サンセール盛岡」で開催されました。



ご来賓として、菅原一成校長先生、同窓会の瓜生祐子会長、佐藤貴子副会長、佐藤洋子副会長、事務局の佐藤陽子様にご臨席いただきました。

総会の初めの支部長挨拶は、「六根清浄」由来の「どっこいしょ」の言葉について、お話いたしました。

菅原校長先生からは、生徒達の生き生きとした姿を伝えていただきました。高校



総会終了後、20回生で役員でもある照井カツエさんの「瑞宝単光章」叙勲を、花束と拍手で祝いました。午後からは懇親会です。

野球での素晴らしい活躍を初めとする運動関係、礼儀正しく明るい日常生活などです。私たちの後輩たちに、心から拍手を送りたい気持ちになりました。また、高校再編での学級減の問題は現状維持との報告もいただきました。



が舞台上上がり、好きな歌をカラオケで歌い、自己紹介するので、勿論豪華な賞品付きでした。籤は来賓の方にお願いしました。あちこちから歓声があがり盛り上がりしました。

その後、来賓の「花南賛歌」全員の「同窓会音頭」校歌斉唱」でお開きになりました。

当番回生の都合がつかず、役員が担当しました。最初の瓜生会長様のご挨拶は、先輩たちには有名な方々がおり、誇らしいこと、学級減の問題への取り組みも力強い協力の下に行われ、成果を挙げたことなど、ユーモアをまじえてのお話でした。

佐藤貴子副会長様の明るいご発声で乾杯をし、余興に入りました。「皆で」が今年のテーマでした。籤に当たったテーブルの人たち

高等学校同窓会北上支部定期総会並びに懇親会がホテルシテイプラザ北上を会場に開催されました。当日は、副校長日野澤明彦様、同窓会会長瓜生祐子様、副会長佐藤貴子様、常任理事小瀬川陽子様、事務局佐藤一枝様をご来賓としてお迎えし、支部同窓会42名の参加を得て行われました。

ご来賓の同窓会長様からは、県立高校再編成計画に向けて、2万人以上の方々から頂いた署名活動のお蔭で念願が叶うらしいと、皆さんの活動に感謝の言葉が述べられました。

では、一年に一度の同窓会への参加の輪を広げるための取り組みが課題として、話し合われました。今回は役員がフル回転した同窓会でした。

**北上支部**

支部長

安藤 宣子

(花南6回生)

あじさいの花が雨に洗われ、一層鮮やかな晴れの日の6月24日(日)10時より、平成30年度若手県立花巻南

る笑い声が満ちていて、大変活気のある学校であり、運動部も文化部も活躍が盛んであり、進路状況も良好な結果を示しているとのことでした。更には、現在は、創立110周年記念に向けて、具体的取り組みを開始しているとのことでした。

総会は、皆様のご理解を得て、滞りなく終わらせて

副校長先生からは、校長先生からのメッセージを代読され、部活動が盛んで校舎内は、明

られても、根気よく訪問し、1社、2社と誘致していったとのことである。こうした先人の苦労と並々ならぬ努力が土台となり、現在の発展し続けている北上市に なっていることが理解できました。



総会に引き続き、講演に移りました。演題は「躍進の市。北上」というテーマで北上市商工部長の石川明広様をお願い致しました。「地方創生」時代の中小都市の挑戦や背景について、長年企業誘致事業に携わってきた当事者として、熱い思いを語って頂きました。

特にお話の中で感動した事は、先人達の地元を思う熱意と苦労でした。その一つは、昭和初期、北上の主産業は、農業。長男が家業を継ぎ、その他は家を出る時代。地域で働く産業は工業という事で工業を担う人材の必要から、昭和14年、黒沢尻工業高校の建設費、敷地の一部を地元民が寄付し、盛岡に次いで県内2校目の県立工業高校を誕生させたこと更には、工業を発展させるため、自前で工業団地を造ったが、誘致がなかなか進まず情報をキャッチするとすぐに、商工関係者を東京の会社に訪問させて交渉に当たらせ、市長自らトップセールスを行うという日々であった。何度断

**東和支部**

支部長

朝倉 千里

(花南10回生)

東和支部総会は、平成30年9月24日(月)東和温泉に於いて開催されました。来賓として菅原一生長校先生、同窓会長瓜生祐子様、



同副会長佐藤貴子様、佐藤洋子様、事務局佐藤陽子先生、顧問藤井安子様のご臨席をいただき会員42名の出席で始まりました。最初に瓜生会長様から学級減5高校延期の詳細について説明を受け、又署名活動に際してのお礼等のお話をいただきました。

その後、菅原校長先生から在校生の学校生活の様子、部活動の活躍、進路状況をお聞きし、今後を期待し、同窓生として本当に嬉しく思った次第でございます。

その後議事に入り全議案とも慎重に審議の結果、提案のとおり承認されました。引き続き花巻市副市長佐々木忍氏より花巻市のこれからのまちづくり「花巻



市の地方創生の実現に向けて」と題し身近な問題ばかりで関心がもたれ、あっという間に終り、続いて懇親会、会食をしながら昔なつかしいお話等歓談、余興を楽しみ、手品、踊り、歌あり皆様の多芸で場を盛り上げていただきました。初代支部長小野寺悦子様も施設から車椅子で駆けつけて下さり、会場は更に盛り上がり最後は瓜生会長さま

んのリードで、全員の手踊りと和気あいあいの中、閉会出来ました。本当にありがとうございました。毎回瓜生会長のパワーにはただただ驚かされ私達同窓生の憧れです。どうか益々ご健勝で指導いただきましたものです。ご多忙の中枉りてご出席いただきましたご来賓の皆様、そして会員の皆様心から感謝申し上げます。

今後、会員の拡大と若い会員の方々男性会員の方々に参加していただき会員相互の親睦を深めて参りたいと思えます。私達役員も一丸となって力を合わせ、協力し合い皆様方に支えられ指導をいただき当支部のため頑張る所存でございますのでよろしくお願いいたします。終わりになりましたが母校の益々の躍進をご祈念申し上げます。



平成30年度  
**同窓会事務局日誌**

- 平成30年
  - 4月9日(月) 入学式 本校体育館
  - 4月8日(日) 東京支部総会 上野精養軒
  - 4月12日(木) 会計監査 本校会議室
  - 4月23日(月) 常任理事会
  - 5月19日(土) 理事会・総会準備会 ホテルグランシエール花巻
  - 6月24日(日) 北上支部総会 シティプラザ北上
  - 7月1日(日) 定期総会 花巻温泉ホテル千秋閣
  - 7月20日(金) 全国大会出場激励費授与式 本校会議室
  - 9月24日(月) 東和支部総会 東和温泉
  - 10月28日(日) 盛岡支部総会 サンセール盛岡
  - 11月1日(木) 会報編集委員会 まなび学園
- 平成31年
  - 1月23日(水) 会報編集委員会 まなび学園
  - 2月28日(木) 同窓会入会式 本校体育館
  - 3月1日(金) 卒業式 本校体育館
  - 3月1日(金) 会報第36号発行
  - 3月25日(月) 表彰者を祝う会並びに送別の宴 渡り温泉さつき

役員稿  
寄

思い出の冒険

常任理事 笹山 明  
(南高43回生)

みなさん、高校3年間の思い出深い冒険が1つや2つあるのではないのでしょうか。校訓が「明知」、「中庸」、「無限」である花巻南高校のOB、OGであれば尚更だと思います。

私にも思い出深い冒険があり、当時から20数年がたつても色あせない冒険の1つに部活のお盆休みを利用し、陸上部の同級生3人と後輩2人、私の6人で日本海まで自転車走破計画をたてたことがあります。

当日は猛暑で、体力自慢の私たちでも北上市内の107号線を西進中には、「失敗したな」と誰もが声に出さないうちでも、全員が思っていました。しかし、バテていたはずなのに気分が高揚してきたのか、1列縦隊編成から1人、2人とスピードをあげ、次々と飛び出していきレースのような状況となり、岩手県と秋田県の県境に差し掛かるころには、全員の体力が限界にきていました。そこからは楽しさよりもキツさ辛さしかなく、口数は減りフラフラの状態です。

下り坂が続くころには若干の精気が戻ってはいましたが、「日本海は諦めよう」ということになりました。横手市街で夜食を買い、横手川沿いでテントを

張って一夜明けたら、涼しいうちに花巻に帰ることにした私たちは、つくづく計画性の無さを悔やみましたが、これも思い出の1つとなると気を取り直し、いくつも流れ星が流れる夜空を見ながら語り合いました。翌朝、爆睡した人、全然眠れなかった人、テントを揺らされ無理やり起こされた人、様々でしたが日本海まで自転車で行くことを断念した無念さを感じられないくらい、晴れ晴れとした顔で早朝、花巻まで出発しました。道中、やはり前日同様レースのようになりましたが、涼しい時間帯のせいか前日あんなに苦労した奥羽越えを難なくクリアし、昼頃には花巻駅に着いていました。この学びを活かし、早朝に出発し来年こそは日本海に行こう、と誓い合った私たちではありましたが、「お盆くらいは家にいなさい」とのお叱りを両親からいただいた私は、翌年は参加できませんでした。前年の教

訓を活かし計画と対策をたてた面々は無事に目標であった日本海まで行けたそうです。猛暑での運動は避けること、計画を立てることの必要性をはっきり知ることができ(明知)、仲良く奥羽横断を成し遂げた偏ることのない常に変わらない(中庸)絆、そして(無限)の可能性に青春をかけた小さな小さな冒険でした。

1911年に設立された母校は110周年を3年後に控えています。現役の学生、そして私たち同窓生が一丸となって、輝ける110周年を迎え、150年、200年と飛躍が続く高等学校となるべく校訓を体現していくことが重要だと思っております。



表彰者紹介

春の叙勲を受賞して

佐々木 正 弘 (南高2回生)



(平成31年1月15日逝去)

この度市民の皆様方の御支援と御協力により平成30年春の叙勲を拝受致しました。

私は、花巻市が誕生した翌年の昭和30年から約50年間花巻市に奉職し、様々な市政の課題に取り組みさせて頂きました。

去る5月2日には、岩手県知事より「瑞宝双光章」の勲記・勲章の伝達を拝受して参りました。

これもひとえに市民の皆様方より頂戴致しました長年にわたる心温かい御指導と御高配の賜物と深く感謝

申し上げます。

花巻は、県のほぼ中央に位置し、交通の要衝でありながら自然豊かで肥沃な土地に恵まれ、風光明媚な四季折々の変化を感じることでできる素晴らしい所です。また人情味も溢れ、まさに、宮澤賢治先生の「イーハトーブ」(理想郷)ではないかと思っております。

これからは、この榮譽を心に刻み、御厚情に報いるべく一層の精進に努める所存でございますので、今迄通りの変わらぬご厚誼の程よろしくお願い申し上げます。

皆様の御健勝と御多幸並びに花巻市勢の益々の御発展を衷心よりお祈り申し上げます。御礼のご挨拶と致します。ありがとうございました。

# ある日の新聞から

加藤 綱 男 (南高3回生)

- 日本食親善大使 2017年 現代の名工 2000年
- 旭日双光章 2013年 公益社団法人 2002年
- 黄綬褒章 2002年 日本調理師会会長 2018年



## 平成30年度春の叙勲 瑞宝単光章受章

照井 カツエ (南高20回生) (旧高橋)

私はこの度岩手県保健福祉部の推薦をいただき、はからずも「瑞宝単光章」の栄に浴しました。身に余る光栄で今まで多くの先輩、

同僚の方々、関係各位の皆様からのご指導、ご支援をいただいたお陰と深く感謝いたしております。

5月2日岩手県知事公舎

にて達増知事から天皇陛下よりの瑞宝単光章の勲章と勲記の伝達をいただき、その勲章を胸に着用し5月10日皇居に参内し春秋の間に天皇陛下の拜謁を賜りました。「永年それぞれの勤めに精進し国や社会また人々の為に尽くされてきたことを深く感謝しております。」と有難きお言葉を頂戴し大変感激して参りました。



車窓から見る皇居外苑の木々の緑は青空に映えてとても美しかったです。受章者とその配偶者600名程がバス20台で坂下門から皇居に入り、車番号の順に春秋の間に整列しました。



た。春秋の間は宮殿内では2番目に広い大広間で柱に吉野杉や日向松が使われているそうです。天井のシャングリア、絨毯の厚み、建物の壮大さに只々圧倒され、皇居の中の特別感！をたつぷり味合わせていただきました。

今回の叙勲については29年度末の慌ただしい業務の時に、滝沢市児童福祉課の課長さんと当法人の理事長より突然にお話をいただきました。多くの先輩、同僚の方々がいる中で私がその栄光にあずかることに大変恐縮し、2時間お断りしつづけてきましたが、皇居に行くことが出来るということをお聞きし首を縦に振ってしましました。皇居に向かう前に厚生労働省舎にて式典があり、加藤厚生労働大臣よりご祝辞をいただき、「本人の努力はもとより、所属している組織が評価されたということです。」という内容だったと記憶しております。

達の笑顔に支えられえながらその健全な成長に関わって参りました。改めて滝沢市保育協会の一員であることに誇りを感じました。ここ数年保育士不足が続き厳しい業界ですが、保育という仕事は未来につながり社会に貢献できるやりがいのある仕事です。子ども達の未来がキラキラして、賢治さんの言葉の「世界がぜんたい幸福に」の教えを大切により一層精進してまいります。ともご指導の程よろしくお願ひ申し上げます。

## 文化庁18年度芸術祭賞

東北弁落語家 六華亭遊花さん

川野目 江理子 (南高32回生)



# 南高66回生 幹事紹介

## 【学年代表幹事】

4組 似内 力



皆が楽しめる同窓会にしたい。

3組 高橋 優司



みんなが楽しめるように一杯頑張ります。

## 【各クラス幹事】

1組 及川 諒



楽しい同窓会になったらいいと思います。

す。学級最強組長戦士、航

たくんには絶対来てほしいです。

1組 小宮 駿



がんばります。

2組 佐々木 健翔



皆が楽しめる同窓会にしたい。

2組 齊藤 瑞希



みんなが楽しめるようにがんばります。

3組 鎌田 はるか



みんなが楽しめる同窓会になるように

4組 及川 拓真



自分の責任をしっかりと自覚して頑張りたい!

5組 照井 絵梨花



5組のダブルアイドルえりかがみんな集めるから来てね!

5組 照井 枝利香



北は岩手、南は山梨、いや韓国、ニュージージーランドのあたりまで世界に広がった5組のみんな、全員よぶからちゃんと同窓会来てね!

## 平成30年度

### 進路合格状況

#### 1 進学受験状況

9割近くの生徒諸君が進学を希望し、公務員・就職にも対応する多様校として躍進しています。

推薦入試では、国公立大学から、専門学校まで、79名、AO入試で46名の生徒が受験に挑みました。

結果は以下のとおりとなり、昨年同様良い結果を残すことができました。

国公立大学の推薦・AO受験は、16名が挑み、7名が合格。国公立大学の推薦合格率は44%でした。また、今年度医療・看護系の学校を希望する生徒の推薦受験合格率は78%という結果でした。

4年生大学や医療・看護系専門学校を希望する生徒は例年多く、多くの生徒が受験生として頑張っています。年末年始にも、課外を企画し、先

# 母校だより

生方の指導による支援を行っています。

#### ●主な合格先

(平成31年2月9日現在)

##### 〈国立大学〉

- 北海道教育大(1) 岩手大(1) 秋田大(1) 山形大(1) 釧路公立大(1) 岩手県立大(1) 都留文科大(1)

##### 〈私立大学〉

- 盛岡大(4) 岩手医科大(2) 富士大(3) 東北学院大(6) 尚綱学院大(5) 東北福祉大(2) 東海大(1) 東京経済大(1) 国学院大(2) 千葉商科大(2) 等

##### 〈短期大学〉

- 岩手県立盛岡宮古短大部(1) 盛岡短大(4) 山形県立米沢女子短大(1) 修紅短大(2) 仙台青葉学院短大(6) 弘前医療福祉短大(1) 秋田栄養短大(1)

#### 〈医療系専門学校〉

- 県立宮古高等看護学院(1) 岩手リハビリテーション学院(6) 花巻高等看護専門学校(5) 日本医科大看護専門学校(1) 等

#### 〈各種専門学校〉

- 専大北上保育福祉専門学校(5) 盛岡医療福祉専門学校(4) 上野法律ビジネス専門学校(2) 盛岡カレッジオブビジネス専門学校(4) 等

#### 2 就職内定状況

民間就職希望者は17名で、全員が決定しています。公務員は、自衛官1名候補になりました。早朝課外や面接練習に熱心に臨むなど、取り組みは立派でした。これから社会人として、それぞれの職場での活躍を期待しています。

#### ●主な内定先

(平成31年2月6日現在)

- 花巻農業協同組合(1) 富士フィルムテクノプロダクツ(1) イーエヌ大塚(1) アイリス花巻(1) 北上信用金庫(2) 東芝メモリ(4) セレクタホテルズ(1) パンチ工業(1) たもり(1) 薬王堂(1) 岩手県北自動車(1) ニチイ学館(1) サンデリカ仙台第二事業者(1)



部活動の記録



女子バレーボール部



JRC部



茶華道部



男子バスケットボール部



体操部



女子ソフトテニス部



女子バスケットボール部



卓球部



女子ソフトボール部

学校行事の記録



高総体壮行式



入学式



ピリオバトル



体育祭・選手宣誓



野球応援



花南祭



体育祭・ムカデ競争



野球応援

# 国際交流 (海外ホームステイ研修)

昨年度は、ハワイコースへ11名の生徒を海外に派遣することができました。様々なプログラムを通じて、異文化交流を図りました。実際に見て、感じて、体験する中で生徒がそれぞれ掲げた研修テーマについて、深く考察し、有意義な時間となりました。

## ハワイコース

派遣期間 平成30年3月27日(火)～4月3日(火)  
派遣場所 ハワイ レイレファ高校  
参加生徒 1年2名 2年9名

## 見学場所

国立太平洋記念墓地(車窓見学) イオラ  
二宮殿 カメハメハ大王像 マジックアイ  
ランド ワイキキビーチ アラモアナシヨ  
ッピングセンター ダイヤモンドヘッド



レイ作りに挑戦



学校での歓迎会



ホストファミリーの自宅でのクラス会



ホストファミリーメンバー集合



レイレファ高校での授業風景



カメハメハ大王像



アラモアナショッピングセンターでの夕食



ダイヤモンドヘッド頂上からのハワイの街並み

# 編集後記



◇春の息吹と共に、また新たな同窓生が誕生する卒業式を迎えます。本校の歴史と伝統を胸に花南同窓生としての誇りを持って前進されますよう心から願っております。ここに平成最後の同窓会報となります第36号をお届け出来ますことは、編集委員として喜びで一杯です。

◇毎年7月の第1日曜日、花巻南高等学校同窓会が開催されます。皆様お誘い合わせの上、多数の御出席賜りますようお願い致しております。

◇お忙しい中、貴重な原稿をお寄せくださいました皆様に紙上より厚く御礼申し上げます。今後とも会報の充実のために微力を尽くして参りたいと思っております。

ありがとうございました。



## 編集委員長

佐藤 貴子 (南13)

## 編集委員

小瀬川陽子 (南5)

清水 佳子 (南15)

清水意久子 (南16)

葛巻久美子 (南18)

佐藤 仁実 (南37)

戸来 誠 (南41)

## 事務局

佐藤 陽子 (南23教諭)

佐藤 一枝 (南42教諭)